

医学科 6 年 T さん

実習科：内科

静岡医療センターでの実習を修了して

私は、2022 年 4 月に 1 か月間、HMEP（ハワイ医学教育プログラム）を通じて静岡医療センターでの臨床実習に参加させていただきました。内科、救急、外科、家庭医療の 4 つのコースのうち内科を選択しましたが、内科と救急科は同じ先生方で構成されており、内科に加えて救急科でも実習させていただきました。市中病院であり、大学ではあまり見られない common な疾患に多く触れることができ、座学で勉強したことをより記憶に残せた貴重な時間を過ごしました。

実習期間の病院での過ごし方は、救急は救急車が入り次第、内科は担当できる入院患者が入り次第 1 人か 2 人程度を担当し、先生方に教わりながら診察や手技を経験しました。先生方は親切で優しい方ばかりで、やりたいと言えどどこまででも実習させてくださる、素晴らしい環境でした。私は、大学の実習ではあまりできていなかったエコーの操作を練習したいと思っていたので、そのような機会には何度もエコーに触れることができ良かったです。

救急で具体的にやったことは、問診、モニター心電図や 12 誘導心電図の電極の装着、血圧測定などでした。中には、ルートをとれるようになった学生もいて、かなり研修医に近いことが経験できました。

また、内科では、担当患者さんの問診や全身の身体診察を毎日行って、入院時カルテを書いたり、その日の所見をカルテ記載したりしました。そして、自分が目で見て捉えた病態などから患者さんに必要な検査や治療について考え、指導医の先生と議論しました。タイミングによっては、患者さんのご家族の問診をする機会もあり、臨床でのリアルな緊張感の中、医療現場の一員として動いている実感が湧きました。

指導医の先生は、質問に丁寧に答えてくださいましたが、全部教えてもらうのではなく、時には自分で調べたり考えたりすることを促され、実際に研修医になってから求められる自主性が鍛えられたと感じています。

さらに、自分以外の学生がそれぞれに熱心であり、彼らからも刺激を受けることが多かったです。一緒に救急を見たり患者さんを担当した時に、分からなかったところを話し合ったり、できていなかったところを補い合ったり、お互いが持参していた本を交換して読んだり、切磋琢磨し、患者さんが元気になっていく様子も悪くなっていく様子も共有しました。

現場での実習に加え、毎週火曜の家庭医療の先生の講義時間で、毎回 1 人ずつ担当症例についてプレゼンする機会があり、症例発表の仕方も学びました。HMEP の講義として、週に 1 回程度、外国人講師による英語での授業を受けることもあり、充実した 1 カ月でした。

以上のような実習を振り返って、来年医師になる前に、学生のうちに、医療者としての臨

床経験を積んだことは、これまでに漠然と感じていた「医師になること」への不安を、責任ある仕事としてイメージを深め、自信に変えていく、とても大切な一歩になったと思います。どんな初期研修を送りたいか具体的に考えたりもして、研修病院選びにも役立ちました。また、勉強面においても、臨床的に様々な疾患のリアルなイメージができるようになったことで、国試などの臨床問題が以前より解けるようになった実感を持っています。機会のある医学生には、是非参加されることをおすすめします。

最後に、このように素晴らしい実習機会をくださった先生方や事務担当の方々に、深く感謝申し上げます。